

## 2 調査結果概要

### <ヤングケアラー調査>

- ・「ヤングケアラーである・過去にヤングケアラーであった」とする者

ケアの相手が「幼い（未就学・小学生）」という理由のみでケアしている者を除くと、4.1%（1,969人）である。

- ・ヤングケアラー本人の性別

「女性」が58.9%で約6割を占めている。

- ・ケアをしている相手、状況

相手は、「祖父母・曾祖父母」36.9%、状況としては「病気」28.6%が最も高い。

- ・ケアの内容（複数回答）、頻度、1日当たりの時間

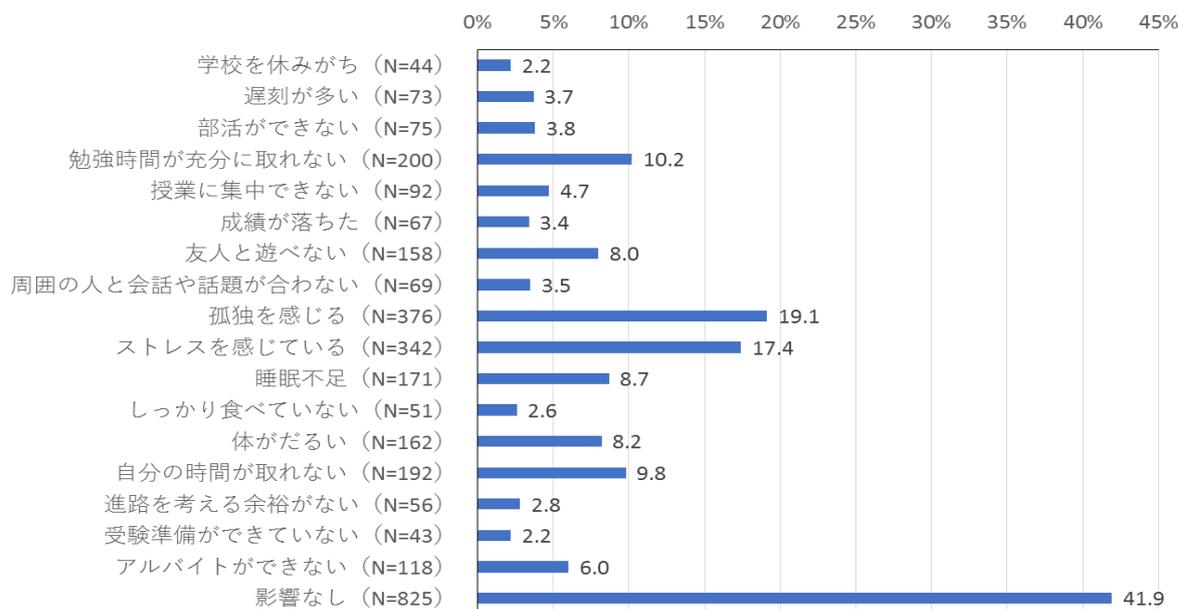
内容は「家の中の家事」58.0%、頻度は「毎日」35.3%が最も高い。また、時間は学校のある平日については「1時間未満」40.4%、休日については「1時間未満」26.8%が最も高い。一方、時間について「2時間以上」とする者は、平日25.1%、休日41.4%と、休日はさらにケアが長時間化する傾向がみられる。

- ・ケアを担っている理由（複数回答）

「親が仕事で忙しいため」29.7%が最も高い。

- ・ケアによる生活への影響（複数回答）

「特に影響はない」41.9%で最も高いが、一方「ケアについて話せる人がいなくて、孤独を感じる」19.1%、「ストレスを感じている」17.4%、「勉強の時間が充分に取れない」10.2%等と様々な影響を受けている者がいる。



#### ・必要とする支援（複数回答）

「特になし」38.2%が最も高いが、一方「家族の病状が悪化するなど、困った時に相談できるスタッフや場所」16.0%、「信頼して見守っている大人がいること」14.5%、「学校で宿題や勉強をサポートしてくれること」13.2%など様々なサポートが求められている。

